

平成26～30年度  
課題解決型高度医療人材養成  
横断的な診察力とマネジメント力の両方を兼ね備えた医師養成  
医療の質管理領域(医療安全・感染制御)

# 「PDCA医療クオリティマネージャー養成」 プログラムの概要

# 現在の課題と背景

医療技術の高度化、  
国民意識の変化

医療の質の確保が  
重要！

ところが～

大学病院等では、医療  
の質の評価が不十分

大学病院の手術、麻酔  
関連死亡事故！

- 医療機能高度化を支える病院組織マネジメントが確立されていない
- 組織横断的な質改善・安全確保の継続的な取組が不足

# 課題解決に向けた人材の養成

医療の質管理のための  
総合力は...

① データ分析能力

② 質改善実践能力

③ マネジメント力と  
リーダーシップ

これらの能力を備え、医療の質改善のPDCA(Plan, Do, Check, Act)を実践し、病院組織マネジメント改革を担う人材の養成

# 本事業の教育プログラムの特徴1

「失敗を未然に防ぐ」だけでなく、  
医療の質を「プラス」に評価する能力の養成

急速に増大する医療データを  
高度に利活用できる能力の養成

PDCAの実践により、大規模病院組織の  
マネジメントを担える能力の養成

## 本事業の教育プログラムの特徴2

クオリティマネー  
ジャー養成プロ  
グラム

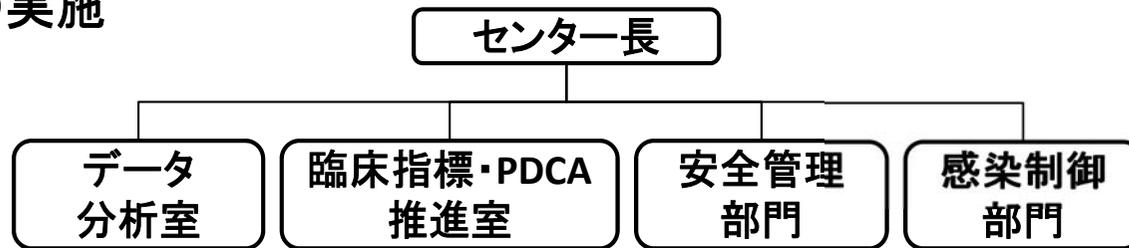
附属病院クオリ  
ティ・マネジメン  
ト・センターと連  
携した実践的な  
教育プログラム

大学院医療管理  
政策学(MMA)  
コースと連携した  
体系的講義

国立大学法人初

# 附属病院 クオリティ・マネジメント・センター <平成27年度に新規設置>

- 各種**診療関連情報**を集約し、医療の質保証と病院マネジメント改革のためのエビデンスを提供
  - ・院内各部門よりデータを収集し、分析
  - ・各診療科と連携して臨床指標を活用した医療の質保証のPDCAを実施
  - ・医療安全・感染制御部門と連携しデータ分析に基づくPDCAの実施



医療の質保証・  
安全管理・感染  
制御のPDCA



# 教育プログラムの構成

1. クオリティ・マネジメントのための  
データ分析手法の習得

医療データ分析、PDCAに関する演習  
を含めた講義(5科目105時間)

2. PDCAを用いた実践的教育  
プログラム

質改善、安全管理、感染制御の指標の  
選択、プログラム設計、効果測定、総括  
のPDCA実体験(3科目180時間)

3. 大学院MMAコースで体系的な  
知識を習得

医療の質評価、安全感染管理、情報分  
析、組織管理の各分野の体系的講義  
(10科目10単位)

4. ワークショップ

成果発表・総合討論(1科目15時間)

主に平日午後6時以降に、30週間の授業を提供

## 1. 医療データ分析概論

### 【第1日】

- 我が国の医療データの概観
- DPCデータ、レセプトデータ、患者調査・医療施設、患者調査等の官庁統計データ、SSMIXデータ等の内容の詳細
- 医療アドミニストラティブ(管理)データの概念とその利用手法

### 【第2日】

- DPC診断群分類の概要
- DPC調査データを用いた各種分析手法について

### 【第3日】

- DPCデータ、患者調査データ等の公表データの活用事例の提示
- 公表データを用いた**課題演習**

### 【第4日】

- 総合討論(各自20分)
  - 公表データ分析例
  - 各自の問題意識とこの**1年間の各自の分析テーマの設定**

## 2. DPCデータ分析

## 【第1日】

- 実データ操作
  - 変数の定義と形式、縦持ち・横持ちデータ
  - 医薬品マスタ、手術マスタ、ICD-10、DPC分科会公表データの理解
- 小課題演習

## 【第2日】

- 少人数グループ演習
  - 病院評価指標作成、臨床指標作成等の中課題で、分析手法の基本的な操作を習得

## 【第3日】

- 少人数グループ演習
  - パス分析、後発医薬品指数算出などの大課題の分析

## 【第4日】

- 少人数グループ演習
  - 地域分析(SWOT分析、シェア分析など)を用いた、問題解決型の課題の分析

## 3. 臨床指標分析

## 【第1日】

- 臨床指標の歴史的経緯、基本的概念とその活用法の概説

## 【第2日・第3日】

- 実医療データを用いた国立病院機構臨床指標の計測演習
  - 計測手技の習得、計測結果の解釈、計測方法の検証

## 【第4日・第5日】

- 実医療データを用いた医療安全、感染管理に関する指標の計測演習
  - 計測手技の習得、計測結果の解釈、計測方法の検証

## 【第6日・第7日】

- 実医療データを用いた診療パフォーマンスの分析演習
  - 問題解決型の課題から分析項目を選択し病院機能分析を実施

## 【第8日】

- 課題演習と発表、討議
  - 医療の質全般、医療安全、感染管理のいずれかの課題について、計測結果の解釈、問題点抽出、改善策策定
  - 各自の発表(10分)と総合討論

## 4. Business Intelligence (BI) ツール分析

## 【第1日】

- BIツール「Tableau」の使用方法、簡単な演習と分析データ準備テクニックの概要

## 【第2日・第3日】

- Storyboard機能の**演習**

## 【第4日～第7日】

- **データ分析演習**
  - DPC様式1データの分析/組織別管理とケースミックス別管理分析
  - DPC様式1データの分析/診療圏GIS分析
  - 厚労省DPC調査公開データの分析
  - EFファイルの分析/日単位での診療プロセス分析

## 【第8日】

- 分析結果の発表と**グループディスカッション**

## 5. 臨床疫学研究分析

## 【第1日】

- データマネジメント、分析手法、論文化手法についての講義
- 論文事例を用いた医療アドミニストラティブ・データを使った臨床疫学研究の立案

## 【第2日】

- 病院データを用いた臨床疫学研究の立案
- データマネジメントの**演習**

## 【第3日】

- 臨床疫学研究分析の統計分析手法、結果提示方法、論文構成の**演習**

## 【第4日】

- **分析結果発表と総合討論**

## 1. 医療の質評価のPDCA

### 【第1週・第2週】

#### • 学内**演習**

- 医療の質の改善を実践する対象病院の選択
- 選択した病院の現状や問題点をデータ分析し、整理
- 病院実習の議論で使用するプレゼンテーション資料の作成

### 【第3週のいずれかの半日～1日】

#### • **病院実習**

- 自分の対象病院を訪問し、事前に用意したプレゼンテーション資料を用いて、病院経営陣(院長・副院長・診療統括部長・看護部長)、各診療科医師、医療スタッフと問題点について議論するとともに、臨床実態についての情報を収集
- 病院実習に参加できない学生は、病院実習に参加した学生と教員に対してプレゼンテーションを行い議論

#### • 病院実習以外の日

- データ分析結果と臨床実態から問題点を抽出し、改善計画を立案

### 【第4週の3日間】

#### • **総合討論**

- 各学生が、担当した病院の事例を報告し、他の学生や教員と議論

## 2. 医療安全管理のPDCA

### 【第1週】

- 医療安全管理の基礎講義
  - 医学部付属病院の医療安全管理体制と安全対策室業務、事故発生時の対応、医療事故の倫理と法的問題、インシデント・レポート
- 医療安全管理業務への参加
  - インシデント・レポート症例検討会(事例分析)、安全対策会議、院内安全巡視、院内医療安全研修会(輸液ポンプ・中心静脈カテーテル・レスピレーターなど)

### 【第2週・第3週】

- 医療安全管理業務の見学
- 個別発生事例に対する対応、患者相談室、医師・看護師・事務合同会議、リスクマネージャー会議、手術室内タイムアウト、内視鏡室タイムアウト
- **インシデント・レポート解析演習**
  - 各事例に対する既存の対応策を抽出
  - 抽出したレポート内の対応策の評価(グループワーク)
- 模擬患者を用いた安全管理実習

### 【第4週】

- 作成した個別対応策の評価を行う(グループワーク)
- メディカル・セーフターを利用した問題抽出方法の学習
- 実習総括
  - 改善策の妥当性の再評価、病院内の医療システムの問題点の抽出、討議

## 3. 感染制御のPDCA

## 【第1週】

- 指標の選択と評価
  - 電子カルテ、感染管理支援システム(KD-ICON社)を使用
  - 病原体検出状況の分析(多剤耐性菌、院内感染原因菌、血液、髄液、体腔液等からの細菌検出、診療科、検体種類、採取時期別など)
  - 広域スペクトル抗菌薬、抗MRSA薬、特殊な細菌に対する薬剤等の使用状況調査
  - 届出対象の感染症、病原体の管理状況、防御策の実施状況の調査
  - 職業曝露の発生状況、内容の分析

## 【第2週】

- 選択した指標を用いた**感染制御PDCA演習**
  - 問題点の明確化、介入策の策定、介入策の意義の考察、介入策から期待される点、問題点、介入策の評価方法の検討

## 【第3週】

- 介入結果の評価
  - 介入策の実施状況と当初の計画との齟齬、問題や障害の検討
  - 問題点から介入策を改善し、再度、指標を設定

## 【第4週】

- 全体総括
  - 実施した介入策および改善した策について、感染制御における意義の考察
  - 問題点解決のために必要なアプローチについての考察

## MMAコース科目等履修

医療の質の確保、安全管理、感染制御に関する体系的知識を習得するため、大学院医療管理政策学(MMA)コース講義(10単位)を受講

1. 医療のTQM
2. 医療機能評価
3. 医療と社会の安全管理
4. 医療機関リスク管理
5. 衛生工学・汚染管理
6. 病院情報管理学
7. 診断情報管理学
8. 健康情報データベースと統計分析
9. 戦略と組織
10. 医療におけるリーダーシップ論

## 総合討論・ワークショップ

## 【第1日～第3日】

- 個別病院の医療の総合的な課題に関するデータ分析
  - 本プログラムの最初に示した受講生各自の問題意識に沿って、本プログラムで学習した分析手法を用いて、個別病院の課題の評価と改善手法の提案に関するレポートを作成

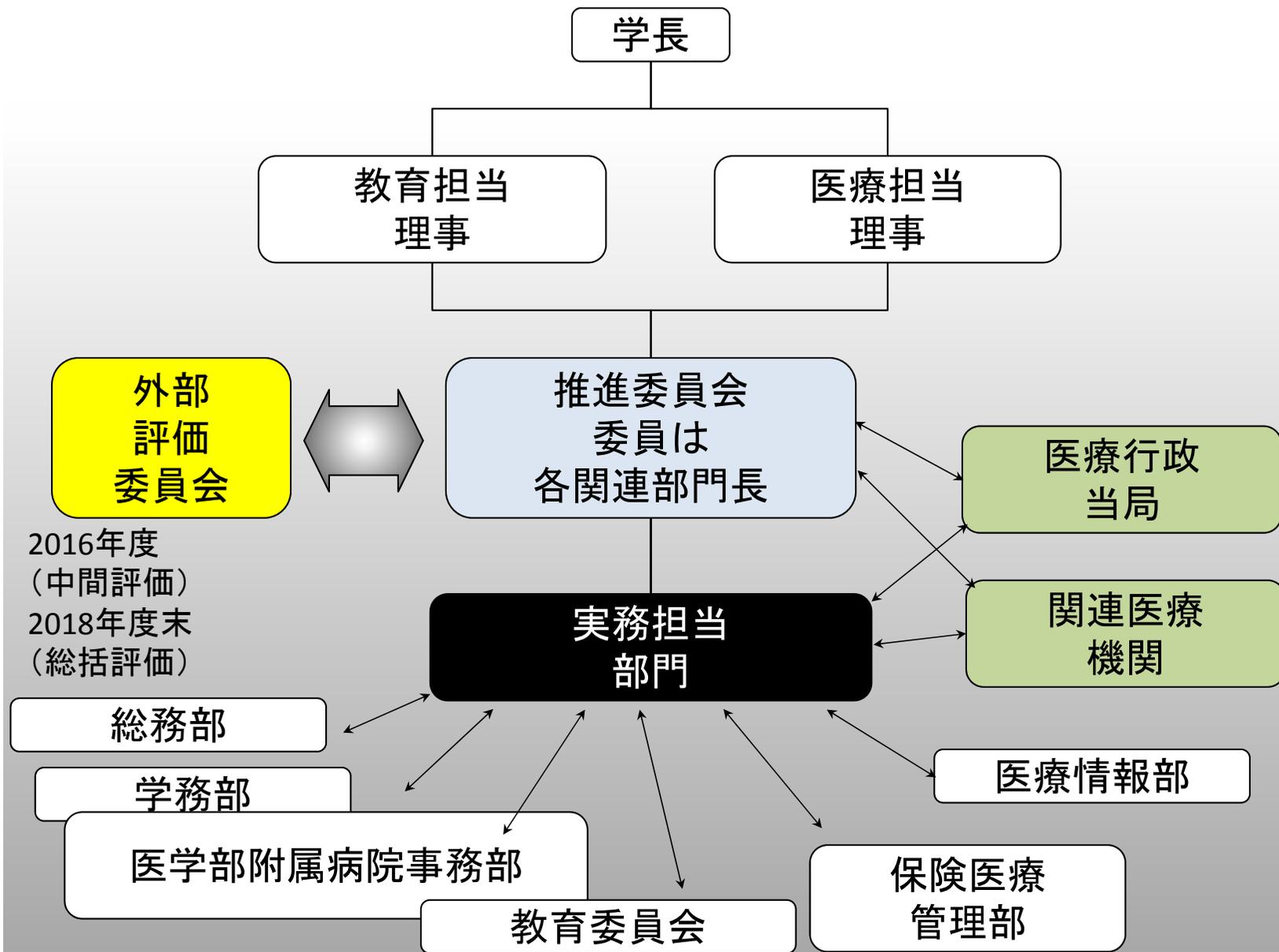
## 【第4日】

- 分析結果と解決手法提案の発表(各20分)と総合討論

# 受け入れ予定人数

対象者	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	計
後期研修医			2	2	2	6
一般医師		5(学内)	10	10	10	35
他の医療職		若干名 (学内)	若干名	5	5	10
計		5程度	12程度	17	17	51

# 本プログラムの実施体制



事業推進・実施・評価体制

# 本事業のアウトプットから課題達成まで

## 本事業のアウトプット

分析力・実践力・リーダーシップを備えた人材が本事業を修了

## 中期的アウトカム

本事業修了者が、大学病院をはじめとする高機能病院に従事し、医療の質改善プログラム実践と病院マネジメント改革の原動力となる

## 長期的アウトカム

医療を適切に評価する文化の浸透により、品質の高い医療を効率的に提供できる医療提供体制の構築

## 最終的な社会へのインパクト

- ・高齢化が急速に進展する日本および世界各国において、医療の質と安全を科学的に評価、確保する文化を醸成し、生活と健康の改善に寄与
- ・我が国の高品質な医療を確保し、メディカルツーリズムを含む医療サービスが輸出産業として発展



[ホーム](#) > [課題解決型高度医療人材養成プログラム\(医学科\)PDCA医療クオリティマネージャー養成](#)

課題解決型高度医療人材養成プログラム(医学科)  
PDCA医療クオリティマネージャー養成

課題解決型高度医療人材養成プログラム(医学科)  
PDCA医療クオリティマネージャー養成

養成講座概要

教育プログラム紹介

カリキュラム一覧

お知らせ

活動報告

関連リンク

